

# 令和3年度広島県大学図書館協議会事業報告

## 1. 会議

### 1. 令和3年度総会

日時：令和3年7月26日（月）～令和3年7月30日（金）

方法：書面審議およびオンライン投票

### 2. 幹事館連絡会議

日時：令和3年7月14日（水）

方法：オンライン会議

### 3. 研修企画委員会

#### 第1回

日時：令和3年6月4日（金）10:00～10:50

方法：オンライン会議

#### 第2回

日時：令和3年9月30日（月）9:00～9:50

方法：オンライン会議

#### 第3回

日時：令和3年10月7日（木）9:00～10:20

方法：オンライン会議

### 4. 共同リポジトリ委員会

#### 第1回

日時：令和3年12月23日（木）9:30～11:30

方法：オンライン会議

#### 第2回

日時：令和4年3月2日（火）15:10～16:15

方法：オンライン会議

#### 第3回

日時：令和4年4月8日（金）10:00～10:55

方法：オンライン会議

※ 広島県内連絡協議会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

## 2. 研修会

### 第1回

日時：令和3年12月9日（木） 13:30～16:40

開催方法：オンライン

テーマ：「図書館ガイダンス・講習会の動画を作成してみよう」

### 3. 事業

1. 協議会ホームページの運用

総会議事録、研修会報告。

2. 共同リポジトリ（HARP）の運用

参加機関数 16 機関

3. 「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会（通称：ひとめマップ）」の作成

5月更新照会後、6月作成。

※ 広島県大学図書館協議会ウェブサイトには、新型コロナウイルスによる臨時閉館への影響を考慮して未掲載。

※ 例年開催しているビブリオバトル広島地区決戦については、令和3年度については各大学ごとに予選会を行い、そのまま本戦（準決勝・決勝）にすすめる形となったため、協議会としては取りまとめを行わず。また、予選会の形式は以下のとおり。

・オープン開催：外部からの参加希望者がバトラーおよび観戦者として参加できる開催。

・クローズ開催：参加者を制限（学内の学生に限る、授業履修者に限るなど）し、外部からの参加希望者が参戦できない開催

※クローズ開催はやむを得ずオープン開催ができない場合

## 令和3年度広島県大学図書館協議会総会議事要録

日程：令和3年7月26日（月）～7月30日（金）

開催方法：新型コロナウイルス感染症対策のため、書面審議とオンライン投票で実施。

参加：加盟館 25 機関

### 議 事

#### 1. 報告

(1) 令和2年度事業報告について

事務局から書面にて、以下の報告があった。

令和2年度広島県大学図書館協議会事業報告（資料1）、令和2年度広島県大学図書館協議会総会議事要録（資料2）

(2) 令和2年度研修企画委員会の活動報告について

研修企画委員長の広島文教大学 石井事務長から書面にて、令和2年度研修企画委員会活動報告について報告があった（資料3）。

(3) 令和2年度共同リポジトリ委員会の活動報告について

事務局から書面にて、令和2年度共同リポジトリ委員会活動報告について報告があった（資料4）。

#### 2. 各館活動報告(各館)

各参加機関の代表から書面にて、承合事項 令和2年度の図書館活動について報告があった（資料5）。

#### 3. 協議

(1) 令和2年度決算案及び監査報告について

事務局から書面にて、令和2年度決算書（案）（資料6）および監査館の比治山大学の監査報告書（資料7）が提示された。原案どおり承認した。

(2) 令和3年度事業計画案について

事務局から書面にて、令和3年度広島県大学図書館協議会事業計画（案）について資料8に基づき提案があり、原案どおり承認した。

(3) 令和3年度予算案について

事務局から書面にて、令和3年度予算書（案）について資料9に基づき提案があり、原案どおり承認した。

(4) 令和3年度役員館・委員館の選出について

事務局から書面にて、役員館・委員館の選出について、会則及び資料10・11・12に基づき提案があり、以下のとおり承認した。

#### (4-1) 幹事館の選出

幹事館は、任期2年で改選なし。

#### (4-2) 幹事館以外の役員館・委員館の選出

- ・ 監査館は、広島工業大学附属図書館が選出され、原案通り承認した。  
「広島県大学図書館協議会申合せ事項」第3により、監査館は原則として加盟館名簿の順次とするが、当該年度の役員館の代表幹事館、幹事館及び総会当番館は除く。「広島県大学図書館協議会加盟館一覧」の輪番により、令和2年度監査館である比治山大学図書館の次は広島経済大学図書館であるが、令和3年度の幹事館であるため、監査館は広島工業大学附属図書館が選出された。
- ・ 広島県内図書館連絡会議委員館は、幹事館連絡会議の推薦により、比治山大学図書館、広島市立大学図書館、広島大学図書館が選出され、原案通り承認した（広島県内図書館連絡会設置要項第4条）。
- ・ 研修企画委員館は、任期2年で改選なし。
- ・ 共同リポジトリ委員会委員館は、任期2年で今年度改選（広島県大学図書館協議会リポジトリ委員会内規第6）。幹事館連絡会議の推薦により、広島大学図書館、広島文教大学附属図書館、日本赤十字広島看護大学図書館、海上保安大学校図書館、広島都市学園大学附属図書館が選出され、原案通り承認した（広島県大学図書館協議会共同リポジトリ委員会内規第3）

### 4. 承合事項

#### (1) 学生アルバイトによる学習支援について

（広島市立大学提出・資料14）

各参加機関の代表から書面にて、資料14の通り報告があった。

#### (2) 図書館入退館ゲートの設置状況と、導入の理由について

（福山大学提出・資料15）

各参加機関の代表から書面にて、資料15の通り報告があった。

### 総会資料

令和2年度広島県大学図書館協議会事業報告	資料1
令和2年度広島県大学図書館協議会総会議事要録	資料2
令和2年度研修企画委員会活動報告	資料3
令和2年度共同リポジトリ委員会活動報告	資料4
各館活動報告	資料5
広島県大学図書館協議会令和2年度決算書（案）	資料6
監査報告書	資料7

令和3年度広島県大学図書館協議会事業計画（案）	資料8
広島県大学図書館協議会 令和3年度予算書（案）	資料9
令和3年度 役員館・当番館等の選出について	資料10
広島県大学図書館協議会役員館等一覧（案）	資料11
総会会場順次表・研修実施会場年次表	資料12
承合事項 提案理由	資料13
承合事項1「学生アルバイトによる学習支援について」	資料14
承合事項2「図書館入館ゲートの設置状況と導入の理由について」	資料15
会則・規約	
ひとめマップ2021	
加盟館一覧	

以 上

## 令和3年度研修企画委員会活動報告

### 1. 研修会

#### 第1回

日 時：令和3年12月9日（木） 13：30～16：40

開催方法：オンライン

テ ー マ：「図書館ガイダンス・講習会の動画を作成してみよう」

事例報告：「ビデオエディターによる講習会動画の編集」

報 告 者：沖政 裕治氏（広島大学図書館）

事例報告：「図書館ガイダンス動画 Power Point を使った製作プロセス」

報 告 者：宮原 詩麻氏（広島経済大学図書館）

実 習：個人実習、フィードバック

参 加：17機関 30名

アンケート結果

<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/?p=1018>

### 2. 評価と課題

#### 第1回

新型コロナウイルスの影響下において集合形式のガイダンスや講習会の実施が困難な状況の中、集合形式に代わる手段として動画配信での図書館ガイダンスや講習会の取組が進んできている。研究会では、動画制作初心者が簡単な動画を制作できるようになることを目的とした。

まず、ビデオエディターによる動画作成について広島大学中央図書館の沖政裕治氏に、Power Point を使った動画作成のプロセスについて広島経済大学図書館の宮原詩麻氏に事例を報告いただいた。その後、グループに分かれて個人で動画作成を行い、動画を作成してみてもの難しかった点や感想などを共有した。

アンケートの回答を見ると、内容について「非常に有意義であった」「有意義であった」とあり、好評であった。感想を見ると、利用したことがないソフトや使ったことのない機能を知ることができた、作成の上での注意点がよく分かった、個々人のペースで試すことができ理解が深まった、実務で利用する内容でよかったとあり、事例報告だけではなく個人実習を行ったことで、動画作成ソフトや動画作成のポイントについて理解がより深まったことが伺われる。この結果から研修会の目的はある程度達成できたと思われる。

問題点としては、参加者への連絡が遅くなったため、事前視聴動画や事前に利用する端末を確認していただく時間が十分に取れなかったことが挙げられる。今後は余裕を持った連絡や事前準備を行いたい。

#### オンライン開催について

今年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点からオンライン形式で開催を行った。研修会自体には大きな問題もなかったが、昨年も問題点としてあげていた参加者同士の意見交換を設けられなかった。今後、オンラインで開催する際は、任意参加の形で情報交換の時間を設けたい。開催形式については、環境や研究会テーマ等を考慮し、幅広く検討していきたい。

## 令和3年度共同リポジトリ委員会活動報告

### ○第1回委員会・勉強会

日 時 令和3年12月23日（木）9時30分～11時30分

場 所 オンライン会議

出席者 18大学26名参加（拡大委員会とし、HARP参加館が出席）

#### 勉強会

開催要項に基づき、勉強会が行われた。内容は以下のとおりである。

- ・JAIRO Cloud(以下 JC) の概要，操作デモ（広島修道大学 門脇様）
- ・Earmas の新スキーマ対応システムの概要，操作デモ（広島大学 山根）

#### 共同リポジトリ委員会 協議

##### （1）HARP の今後について

広島大学 山根より、資料1に基づき、2023年秋の現行サーバ保守満了に伴う次期システムの検討について、2022年1月に意向調査（資料3参照）を実施し、HARPの今後の方針・方向性を決定する旨提案があった。意向調査の結果により、今後の会費や移行手段及び費用も変動するため、調査回答は公開し、調査締切後も2月16日（水）までは意向の変更を可能とし、またその後も意向に変更のある場合はHARPへ報告し、その都度必要に応じて運営の見直しを行う旨説明があった。当提案は、案の通り了承された。

##### （2）共同リポジトリシステムの更新，会費について

広島大学 山根より、資料2に基づき、HARPがクラウドにEarmasを置く場合と、JAIRO Cloudへ移行する場合の具体的な負担額について説明があった。両者とも移行時にかかる経費のほか、継続的に、前者についてはクラウドの維持費（資料4参照）、後者についてはJPCOAR基本会費及びJC利用料金（資料5参照）が必要となる旨説明があり了承された。

### ○意向調査

2023年以降のHARPシステム継続についての意向調査を実施

第1回（令和4年1月4日～1月27日）、第2回（令和4年1月28日～2月16日）

### ○第2回委員会

日 時 令和4年3月1日（火）15時10分～16時15分

場 所 オンライン会議（Teams）

出席者 委員館のみ出席

#### 協議

##### （1）HARP の今後について

広島大学 山根より、資料1～3に基づき説明があり、協議の結果、資料1を共同リポジトリ委員会からの提案とすることが了承された。

資料1（提案）の概要は以下の通り。

#### 提案

2023年度の適切な時期にHARP参加館はJCに移行する

（新）HARPには移行しない。移行にかかる諸々の作業については、今後検討が必要であるが、可能な限り運営費により賄う。

移行時期は、JCのWEK02からWEK03への移行が落ち着いた以降の適切な時期。

理由

第2回の意向調査では16機関中10機関から利用継続予定との回答があった。しかし、(新)HARP移行後に順次JCに移行する機関が出て、毎年、会費・運営体制の見直し等が必要になる可能性がある。そのため、余力がある今のタイミングで全参加機関がJCに移ることが今後のHARPにとってよい選択であると判断した。

(2) 今後の進め方等について

広島大学 山根より、資料4～5に基づき説明があり、協議を行った。協議の結果、今回の提案をHARP参加館へ提案し検討してもらうこと、また3月11日～18日にHARP参加館による意見交換会を開催すること等資料4に沿って進めることが了承され、資料4を一部修正の上意見交換会資料とすることとなった。また、提案に対しての賛否を尋ねるForm(資料5)については、一部文言を修正の上HARP参加館に回答を依頼することとなった。

○意見交換会

日時 令和4年3月17日(木)10時00分～11時15分

場所 オンライン会議(Zoom)

出席者 15大学26名参加

(1) HARPの今後について

広島大学 山根より、資料1～3に基づき説明があり、意見交換を行った。出された意見等は、概ね共同リポジトリ委員会からの提案に賛成するものであった。

○提案に対する賛否について

共同リポジトリ委員会からの提案に対する賛否をHARP参加館から回答

令和4年3月18日～令和4年3月29日

○第3回委員会

日時 令和4年4月8日(金)10時00分～10時55分

場所 オンライン会議(Teams)、広島大学中央図書館 会議室

出席者 委員館のみ出席

協議

(1) HARP参加館への提案に対する回答結果について

広島大学 山根より、資料1～2に基づき説明があり、協議を行った。

協議の結果、共同リポジトリ委員会は、2023年度の適切な時期に広島県大学共同リポジトリの運営を中止する方針を決定し、令和4年度広島県大学図書館協議会総会に提案することが了承された。「2023年度の適切な時期にHARP参加館はJAIRO Cloudに移行する」という提案に対する各機関の回答結果の概要は、次の通り。

「提案に賛成し、JAIRO Cloud移行に向けて学内調整を進める予定である」15機関

(2) 今後の進め方等について

広島大学 山根より、資料3に基づき説明があり、協議の結果、資料3の通り進めることが了承された。

以上